

# 平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 河内 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市・本校の実技調査の結果

##### <男子>

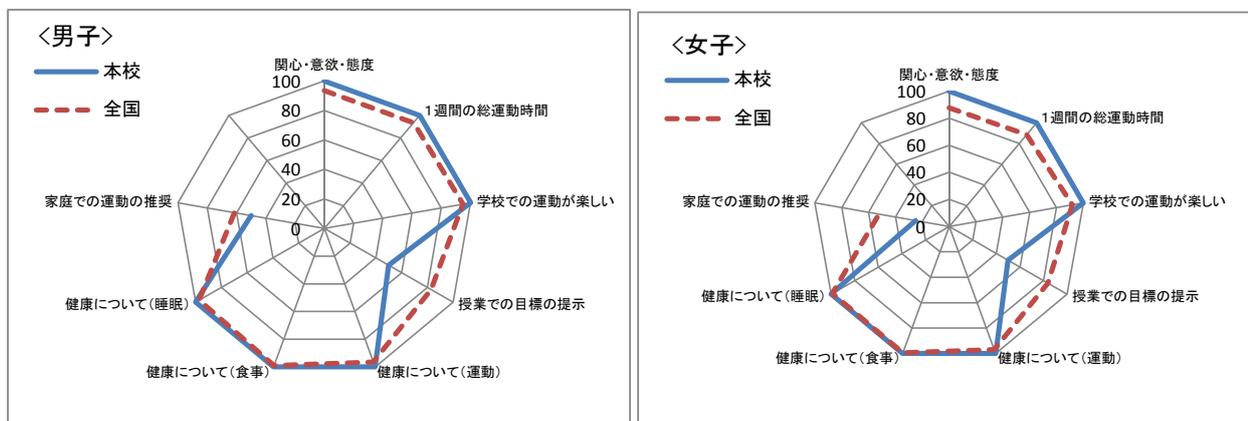
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77
全国平均以上の種目			○						

##### <女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74
全国平均以上の種目	○		○				○	○	○

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

ほとんどの児童が、運動やスポーツを「好き」と答え、体育の時間以外にも運動に取り組んでいる児童が多い。また、健康と運動、食事、睡眠の関係も理解できている。  
 しかし、体育の授業において、目標をもって取り組む面が不十分である。また、家庭での運動への声かけもやや弱い面があるため、学校での声かけが必要である。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

毎週末曜日の朝自習の時間(河内っ子タイム)を使って縦割りグループで運動する時間を設け、竹馬や一輪車、輪回しなどの器具を使った遊びや、ジャンプアップ運動や体ほぐし運動を取り入れ、基礎的な体力作りを行う。  
 Tボールセット、タグラグビーセット、室内サッカーゴール、的あてなど、用具を充実させることで、運動が苦手な児童でも楽しく体力づくりが行えるようにする。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

河内っこ体力証、縄跳びカード、マラソンがんばりカード、一輪車がんばり表、めざせるあてカードなどを作成し、技能の上達、体力・意欲の向上を図る。  
 天気のよい日は外で遊ぶように声かけをし、さまざまな貸出遊具(一輪車竹馬、輪回し、縄跳び、大縄等)を使って、体を動かすことへの喚起を促す。